



茨城県立藤代紫水高等学校グランドデザイン

茨城県立藤代紫水高等学校の目指す学校像

活力があり、生徒も教職員もともに幸せで楽しい学校

- ・ 知・徳・体が調和した豊かな人間性を培い、民主的な社会に貢献し得る人間の育成を目指す学校
- ・ 地域に貢献し、社会から信頼される生徒を育むために、一人一人の生徒に誠実に向き合う学校

校訓

知性を磨き、
心を豊かにし、
丈夫な身体をつくろう



育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ・ 知・徳・体が調和した豊かな人間性を持ち、民主的な社会に貢献し得る人財の育成
- ・ 地域に貢献し社会から信頼される人財の育成



教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・ 生徒の幅広い学習ニーズに対応した学習活動とキャリア教育による、大学進学から就職までの進路希望実現

1 豊かな心を育む教育の推進と生徒指導の充実

- ・ 面談等を通じて、生徒一人一人の個性や特性を十分に理解する。生徒の実態を把握し、学校の課題を明確にした生徒指導体制づくりを行う。
- ・ 挨拶指導を推進し、他者を思いやる意識の育成を図る。
- ・ 「道徳」や「道徳プラス」の授業等、規範意識やモラルを高める取組を充実させる。
- ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家の積極的・効果的な活用と教育相談体制の強化を図る。
- ・ 教職員自らの人権に関する認識を深め、指導力の向上を図るための研修を充実させる。
- ・ 安全と清潔を心掛け、快適な学習環境を整える。

2 個に応じた教育の推進と確かな学力の定着

- ・ 創意工夫を生かした指導による基礎的・基本的知識及び技能の習得を図る。
- ・ 新学習指導要領で目指す資質・能力を育むため、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」を一層促進する。
- ・ ICTを活用した主体的な学びを確立する。
- ・ 学習意欲を高め、家庭学習等を促進する指導の工夫・改善を図る。
- ・ 聞く力、読む力及び文章作成力を養成する。討論や発表を通じて、表現する力を養成する。
- ・ 特別な支援を必要とする生徒への対応の促進を図る。

3 探究を軸とした学びのスタイル改革とICT教育の推進

- ・ 生徒が正解のない問いに臨む機会を創出し、主体的に学ぶ課題解決型の学習スタイルを構築する。
- ・ 協働学習・「個別最適な学び」・「協働的・探究的な学び」・反転学習等、ICTを活用した教育活動を推進する。
- ・ 学習アプリの活用を促進する。
- ・ 異校種との連携や校内外の研修への参加を推奨し、高い専門性を持った学び続ける教員を育成する。

4 多様な進路希望に対応したキャリアデザインの形成

- ・ 生徒一人一人の進路意識を啓発し、自らの意思と責任で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する指導の工夫を図ることで、生徒の自己実現を支援する。
- ・ キャリア教育に関する実践的・体験的な活動への参加を促進し、種々の分野で社会人として活躍・貢献できる力を育む。
- ・ ホームルーム等において、キャリア・パスポートの積極的な活用と充実を図る。

5 学校行事や部活動、ボランティア活動等の体験的活動の充実

- ・ 学校行事等を充実させ、生徒が主体的に活動できる環境づくりに努めるとともに、それらを通して生徒間の友人・仲間づくりを支援する。
- ・ 教職員や部活動指導員・外部指導者等の支援のもと、部活動の充実を図るための取組を推進する。
- ・ 生徒会の主体的な活動の促進等、生徒の自治的・協働的な活動を活性化させ、シティズンシップ教育を推進する。
- ・ ボランティア活動などの社会奉仕体験活動への参加を促し、自己有用感の育成を図る。

6 開かれた学校づくりの推進

- ・ オンラインも含む学校公開等の実施や地域行事等への積極的な参加等により、保護者・地域社会との連携を強化する。
- ・ 学校WEBページの充実やSNS等を活用し、積極的に学校の取組や生徒の活動を発信する。
- ・ PTAや地域との連携を図り、学校理解を深める。



入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ・ 学習、学校行事、部活動などに積極的に取り組むとともに、自分の進路実現に向け努力する生徒